

花尻町内新聞

発行責任者 赤井和彦
編集責任者 楠木忠司

町内会防火教室を開催しました

東日本大震災の後だけに真剣に取り組む

少年消防クラブの入退団式が終わった後、午前10時30分頃から「防火教室」が始まりました。

この度は、東日本大震災の影響で町内から要望した梯子車や工作車が来れなくなり、地震体験、消防自動車の性能説明、救急車の試乗、そして、水消火器による消火訓練は予定通り、実施しました。



起震車で地震体験する子ども達 日頃の訓練が必要

起震車は相変わらずの大人気、多くの子ども達が並んで順番を待っていました。また、救急車に試乗し、消防署の方から説明を聞いていました。



入退団式であいさつする西消防署の林さん

少年消防クラブ入退団式を行う

午前中で全ての日程が終わりました。いつ起こるか分からない災害に対して日頃から訓練しておくことは必要であり、来年は少しでも多くの方のご参加をお願いします！



救急車の中を見学しました 乗り心地はどうだったのか？

3月19日(土)、町内集会所にて、花尻少年消防クラブ入退団式がこども達29名を始め、西消防署、花尻消防団、町内会三役、育成会役員等約50名が参加して開催されました。



退団する6年生に記念品が贈られました

式は森安育成会副会長の司会で始まり、赤井町内会長の開会のあいさつと続きました。次に、西消防署の林さん

第2回岡山市消防団西部地区線法訓練大会が開催される

白石分団借しくも岡山市訓練大会には出場できず

去る3月13日(日)、撫川グラウンドにて、標記の大会が開催されました。ポンプ車線法の部は8分団、小型ポンプの部は13分団が参加しました。白石分団は小型ポンプの部で出場しました。

今年初めて、女性のチーム(伊島分団)が出場し、キビキビとした動きに大きな拍手と声援が送られました。花尻チームは、10番目に



よく頑張った白石分団の皆さん

お疲れ様でした。

より、東日本大震災や少年消防クラブの役割等についてお話がありました。続いて、花尻消防団の赤井さんよりあいさつがありました。



誓いのことばを読み上げる新6年生

次に、この度、少年消防クラブを退団する6年生の代表者(笠原君、金田君、神崎君)に林さんより記念品が贈られました。次に、新入団員(4年生)の自己紹介を行った後、

3月6日(日)、午前10時より陵南コミュニティハウスにて陵南学区婦人会《友愛訪問》発表会に多くの方々が訪れ、盛大に開催されました。



廊下やロビーには色々な作品が展示されていました

次には、5年生の鷺原さんと山本さんより誓いのことばが元気よく読み上げられました。最後に、消防局の皆さんにお礼のことばを書いた色紙が育成会の神崎さんより林さんに贈られ、入退団式は終了しました。

また、お買い物コーナーも設けられ賑わっていました。

東日本大震災の義援金にご協力！
岡山市連合町内会より陵南学区連合町内会を通し「東日本大震災の義援金」について連絡がありました。岡山市連合町内会としては、被災地が1日でも早く復興されることを願って義援金の募集を行うことを決定しました。

目標額を1千万円として、各学区連町に割り当てたそうです。そこで、陵南学区連合町内会としては、各家庭への協力要請を各町内会で行うことを決め、花尻町内会も集まった義援金を3月25日に連合町内会会計にお渡ししました。また、悪質な詐欺事件も発生しています。十分気をつけて下さい。

世ヶ瀬川堤防の草刈り・草焼きを実施！
3月20日(日)、午前10時より有志約20名の協力を得て、野花大橋以北約300mの世ヶ瀬川堤防の草刈り・草焼きを実施しました。



世ヶ瀬川堤防の草刈りを行う参加者の皆さん

草刈り機数台で枯れ草を刈り倒し、刈った草を堤防の内側に集めました。参加者は大汗をかきながら黙々と作業を行い、1時間30分ほどで草刈りを終えました。

11時頃、集めた草に火を付けました。一度の火を付けたため、すごい煙が発生しました。事前に各家庭に、草刈り・草焼きをお知らせしていましたが、焼却日の変更もあったことから警察や

4月10日(日)は県議会・市議会議員の選挙日です。もし、投票日に投票に行けない場合は、期日前投票ができます。期日前投票は、告示日(4月1日)の翌日から可能です。投票時間は午前8時30分～午後5時迄です。投票場所は、北区役所1階(本庁舎)か吉備地域センターです。

春先には新芽が芽生え、一段と美しくなるでしょう。参加された皆さん、ご苦労様でした。また、ご迷惑をお掛けした近隣の皆様にお詫び致します。

吉備中学校の卒業生は296名



担任の先生より一人ひとりに卒業証書が渡されました

吉備中学校の卒業式は、3月16日(水)に厳粛に執り行われました。

午前10時には全員が整列し、開式の辞、国歌斉唱、校歌斉唱に続き、卒業証書授与式に移り、一人ひとりに担任の先生より卒業証書が手渡されました。



式辞を述べる横山校長

続いて、横山校長より「皆さんは在学中、特に3年生になってからは学校のリーダー役として、様々な場面で活躍をしました。部活動では自らの力の限界に挑み、結果を出すことができました。更に体育会でのパワフルな学指導、文化祭でのクラスを大きくまとめ、力を結集した熱唱、どれをとっても素晴らしい活躍だったと感じました。

皆様の一つだけ私からお願ひがあります。それは『常に回りの人に感謝をするのを忘れないで欲しい』ということです。この学校

で心おきなく過ごされたのは、

両親を始め、地域の方々、そして、学校の先生や先輩後輩の皆さんにお世話になったはず。多くの人や物の力によって今の自分があることを決して忘れてはなりません。そして、周りの人に喜びや幸せを分けてあげることのできる、そんな人になって下さい。」との式事がありました。

教育委員会祝辞、祝電披露、PTA会長はなむけのことばと続きました。

次に在校生を代表し、太田結華さんより「今日の良き日、新しい出会いへと羽ばたいて行かれる3年生の皆様卒業おめでとうございます。私たちが今日を迎えることができたのは先輩方は大きな存在であり、目標でした。先輩方から学んだことが次々と思ひ出されます。3年生としての気迫と団結力の強さがひびひしと伝わってきました。日々の練習の積み重ねがいかに大切かを教えられました。

吉備中の良き伝統を守って行く。一層素晴らしい学校にしていくために力を注いでいくつもりです。先輩方は前へと進んで下さい。続いて、卒業生を代表して、渡邊裕樹君より「思い起こせば3年前、入学式の日には校が満開でした。これから始まる新しい生活に期待や不安で胸がいっぱいでした。



答辞を述べる渡邊裕樹君

中学校生活最後の3年生、

最大のイベントは修学旅行。こまかいルールを話し合い、自分たちの手で最初から最後まで計画を作り上げることでできました。体育会。3年生のもてるパワーを出しきり、最高体育会になったと思います。次に迎えた文化祭。中々意見がまとまらないなかで、あきらめずに人の意見に耳を傾けること、失敗を次に生かすこと、何とか困難を乗り越えることができました。そのことでクラスが一層深まり舞台や合唱で今までにない達成感を味わうことができました。私たちが今日を迎えることができたのは皆さんの人が支えて下さったおかげです。

先日の東北地方太平洋沖地震では多くの日本人のかけがえのない命が失われました。いつどこで起きるか分からない地震。震災の恐ろしさや命の大切さを深く考えさせられました。今回の地震は私と同じ中学3年生の人もたくさん犠牲になっていきます。まだこれからという未来ある若い人々の命が奪われたことがとても残念です。天から与えられた一つしかない命、その命を決して粗末にはしなならないことをあらためて思いま

陵南幼稚園から66名が巣立つ

旅南幼稚園第28回卒業証書授与式は3月17日(木)に開催されました。

卒園児が拍手の中、入場して、ピアノに合わせておしきをしました。

次に卒業証書授与に移り、先生から名前を呼ばれ、元気な声で「ハイ」と返事をし、藤村園長先生から一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

続いて、藤村園長先生より「生活発表会の際には、



お祝いのあいさつをする藤村園長先生



2年間でもとても立派になった卒業生もういづれも小学校に入学します

劇や楽器演奏を何回も小さな組さんの前で披露してくれました。暑い日、汗を流しながら水やりや草取りをしている姿を見ました。運動会の際にはみんなで力を合わせて見ている人を「すごい」と思わせるような走りやリレーを見ました。一人ひとりの力は小さいかもしれないけど、みんなで心をひとつにして取り

期間で立ち直ってきた日本人なら、再び必ず復興できると思っています。

私たちが一人ひとりが持っている能力を發揮し、これからは来るであろう困難に立ち向かっていきたいと思

います。最後になりましたが、在校生の皆さん、4月には新入生を迎え、2年生が最上級に、1年生は先輩になります。吉備中学校の歴史を作っていく主役は皆さんです。途中、悩んだり、困ったりすると思いますが、仲間と協力して乗り越えて下さい。そして、先輩方の志を受け継いで今よりも素晴らしい吉備中学校が活躍できるよう頑張ってください。

今回の地震の復興には、これから膨大な費用と時間がかかるそうです。これから私たちの将来も今以上に厳しくなるでしょう。しかし、戦後の敗戦国から短

陵南小学校の卒業生は158名

最後に保護者を代表のあいさつがありました。

卒業された皆さん、おめでとうございます。

陵南小学校の卒業式は、3月18日(金)、午前10時より開催されました。

卒業生の入場した後、開会が読み上げられ、中井校長先生より158名の卒業生に卒業証書が渡されました。

続いて、中井校長先生より「158名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうござ

「158名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうござ

います。つい1週間前、私たちの国は、私たちに多くの恵みをもたらす自然から、人々の力の及ばない厳しさを見せつけられました。東日本を襲った大きな地震で、一瞬に多くの尊い命を失い、



式辞を述べる中井智子 陵南小学校校長先生

このことは、お別れの歌とことば、国歌斉唱と続き、最後に保護者代表のあいさつがあり卒業証書授与式は終わりました。

その後、園庭周辺では親子や友達と記念写真を撮ったりして、別れを惜しむ様子が見られました。

園を後にしました。



とても素晴らしい卒業式でした

なすすべもなく心を痛め、今もその思いの中にいます。

しかし、被災された方々が強い忍耐力を持ち、お互いを思い、助け合って今を生きる姿を通して、日本人の持つ心が世界の国々から、高く評価されているのです。この心はどんな困難も乗り越え、今を生きて、新しい未来を切り拓く力の源であります。互いを思い、頑張る強い心が私たちの心にあるのか見つめ直しました。そして今、小学校を巣

今年「なかよし班」と合同での演技となりましたが、「はとぼっぼ班」からは森下唯愛ちゃん、惣市華ちゃんが参加しました。

「なかよし班」のお友達と一緒に「おにのパンツ」「てとこをつないで」「しまじろうより」の2曲を緊張しながらも練習の成果を發揮し元氣よく踊りました。

来年度「はとぼっぼ班」は、月2回程度集会所で活動を行います。

3月6日(日)午前10時より、陵南幼稚園にて、第22回陵南つぼみ会卒会が行われました。

今年「なかよし班」と合同での演技となりましたが、「はとぼっぼ班」からは森下唯愛ちゃん、惣市華ちゃんが参加しました。

「なかよし班」のお友達と一緒に「おにのパンツ」「てとこをつないで」「しまじろうより」の2曲を緊張しながらも練習の成果を發揮し元氣よく踊りました。

来年度「はとぼっぼ班」は、月2回程度集会所で活動を行います。



多くの方の祝福を受け学校を後にしました

町内会の皆様には二年間お世話になりました。

卒会では元気に踊ったり、歌ったりしました。